

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城野児童館
2	指定管理者	社会福祉法人宮城厚生福祉会
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 34,913人 (前年度比 99.0%) 平成29年度 35,262人 平成28年度 31,812人 平成27年度 30,838人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 32,700千円 (32,399千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、館内の環境整備や職員による支援の充実等の取り組みを行い、児童館が子どもたちにとって安全な居場所になるよう努めている。また、初めて児童館を利用する新1年生が安心して過ごせるようにするため「子ども会議」で話し合ったり、児童館の1日やルールについて学べる「こどものしおり」を作成したりするなど、利用者を第一に考えた安全・安心な遊び・生活の場をつくっている。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人宮城厚生福祉会）による自己評価》	
<p>宮城野児童館は、仙台市指定管理者制度の趣旨に則り、利用者第一の運営を続けてきた。</p> <p>今年度は児童クラブ登録数が150名を超え、大勢の子ども達が楽しく安全に過ごし充実した遊びができることにこれまで以上に配慮した。そのために①職員の支援の一層の充実、②サテライト室の更なる活用、③館内の遊びスペースの確保を中心に改善に取り組み、大勢で楽しむ良さを引き出し、子どもの活発な遊びを保障してきた。同時に事故対応の仕方を随時検討して具体的な対策を立て、過去の事故事例を学ぶ研修に取り組み、大きな事故がなく1年を過ごすことができたことは何よりの成果と捉えている。</p> <p>健全育成としての特色のある活動では、介護福祉施設や仙台市工業高校との連携事業を継続し、子どもが楽しみながら活躍する姿が随所に見られた。今年は豚汁を食べる会や館の卒業式の後に児童館卒業生のエアギター演奏を開くなど新しい行事に取り組み、自由来館の子どもを含め交流の輪を一層広げることができた。</p> <p>子どもの声を生かす取り組みでは、常設している「みんなの声」ポストに入った要望・意見が年間で100通を超え、その一つ一つを検討して子どもの意見を館運営に反映させてきた。また、年3回の子ども会議が定着し、具体的な生活改善に結びつけることができた。</p> <p>子育て支援に関しては、3つの年齢別登録制クラブを中心に、赤ちゃんサロンやぶちぶち遊びといった申込制の遊びも定期的に行い、地域の乳幼児親子の要望に応じてきた。活動内容や支援の声掛けについてはアンケートで良い評価を受けることができた。行事がなくともグループで自由に来館する親子の姿も見られた。</p> <p>今年も多くのボランティアと共に、子どもの遊びと文化を育てるために活動し、それは地域の文化形成にも資することができたと考えている。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>隣接する高校との連携も深く、保育の授業の場の提供や吹奏楽部によるコンサート、模型部によるアニメ上映等を行っている。高校生と乳幼児親子、高校生と小学生、高校生と地域住民等、各事業は多世代が交流する機会となっており、保育の授業がきっかけで放課後に自由来館として児童館を訪れ、小学生と遊ぶ高校生の姿も見られる。小学生を対象とする毎月の企画行事や工作、読み聞かせ、英語のお話し会や、土曜日には囲碁教室、将棋教室、映画会も実施しており、多様な行事を提供している。自由来館児童の参加も多い。</p> <p>子どもの声を児童館運営に反映させる取組みを継続的に行っており、「みんなの声ポスト」や「子ども会議」で、子どもたちから出された意見が、児童館での過ごし方や遊びのルールの改善につながっている。また、全員が参加する「子ども会議」は、上学年の活躍の機会ともなっている。子どもの成長発達を促す健全育成事業に積極的に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>子育て支援事業では、年齢別の幼児クラブや自由参加の「あかちゃんサロン」「お話ポケット」等の定例行事を実施している。サロン終了後に開かれる、「カフェタイム」は、乳幼児親子の交流の場として好評である。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室